

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年12月13日(2023.12.13)

【公開番号】特開2022-109585(P2022-109585A)
 【公開日】令和4年7月28日(2022.7.28)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-137
 【出願番号】特願2021-4979(P2021-4979)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和5年12月5日(2023.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技枠と、該遊技枠に着脱可能に取付けられる遊技構成部と、を備えた遊技機であって、遊技の進行が不能な第1状態と、遊技の進行が可能であり、且つ、特定報知音を出力可能な第2状態と、遊技の進行が可能であり、且つ、特定報知音を出力不能な第3状態と、を有し、前記遊技構成部は、第1遊技構成部と、第2遊技構成部と、を有し、前記第1遊技構成部と前記第2遊技構成部は、それぞれ個別に前記遊技枠に取付けられており、前記第1遊技構成部は、前記第2遊技構成部から伝達される固有値の適否を判定可能なマイクロプロセッサを有しており、前記第1遊技構成部が前記第2遊技構成部から伝達される前記固有値を受け取れないときには、固有値エラー状態を発生可能であり、前記第1遊技構成部が前記第2遊技構成部から伝達される前記固有値を受け取れていない状況において、前記第1状態では、前記特定報知音と前記固有値エラー状態に対応するエラー報知音のいずれも出力せず、前記第2状態では、前記エラー報知音を出力せずに前記特定報知音を出力し、前記第3状態では、前記特定報知音を出力せずに前記エラー報知音を出力し、さらに前記第3状態では、前記第1遊技構成部が前記第2遊技構成部から伝達される前記固有値を受け取れていない状況においては、前記第1遊技構成部が前記第2遊技構成部から伝達される前記固有値を受け取れていない状況に基づく態様で前記遊技枠に設けられる発光手段の少なくとも一部の発光が規制され得るものである、

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 7 】

上記した目的を達成するために、本発明においては、
遊技枠と、該遊技枠に着脱可能に取付けられる遊技構成部と、を備えた遊技機であって、
遊技の進行が不能な第 1 状態と、
遊技の進行が可能であり、且つ、特定報知音を出力可能な第 2 状態と、
遊技の進行が可能であり、且つ、特定報知音を出力不能な第 3 状態と、を有し、
前記遊技構成部は、第 1 遊技構成部と、第 2 遊技構成部と、を有し、
前記第 1 遊技構成部と前記第 2 遊技構成部は、それぞれ個別に前記遊技枠に取付けられて
おり、
前記第 1 遊技構成部は、前記第 2 遊技構成部から伝達される固有値の適否を判定可能なマ
イクロプロセッサを有しており、
前記第 1 遊技構成部が前記第 2 遊技構成部から伝達される前記固有値を受け取れないとき
には、固有値エラー状態を発生可能であり、
前記第 1 遊技構成部が前記第 2 遊技構成部から伝達される前記固有値を受け取れていない
状況において、
前記第 1 状態では、前記特定報知音と前記固有値エラー状態に対応するエラー報知音のい
ずれも出力せず、
前記第 2 状態では、前記エラー報知音を出力せずに前記特定報知音を出力し、
前記第 3 状態では、前記特定報知音を出力せずに前記エラー報知音を出力し、
さらに前記第 3 状態では、前記第 1 遊技構成部が前記第 2 遊技構成部から伝達される前記
固有値を受け取れていない状況においては、前記第 1 遊技構成部が前記第 2 遊技構成部か
ら伝達される前記固有値を受け取れていない状況に基づく態様で前記遊技枠に設けられる
発光手段の少なくとも一部の発光が規制され得るものである、
ことを特徴とする。

10

20

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 8 】

上記発明によれば、遊技機の遊技性能を決定可能な第 1 の遊技機状態中には固有値エラー
状態に対応するエラー報知しないことで決定作業の妨げとならないようにし、音報知手段
により特定音を出力可能な第 2 の遊技状態中には音報知手段によるエラー報知を行わない
ことで音報知手段が正常であるか否かの確認作業の妨げとならないようにし、遊技機の遊
技性能の決定作業や音報知手段の確認作業を伴わない第 3 の遊技状態中には音報知手段に
よるエラー報知を含めて固有値エラー状態に対応するエラー報知することで固有値エラー
状態であることを見逃さないようにすることができる。

30

40

50